

商店街をもっと見る。もっと知る。

# 京都商店街新聞

1 | JANUARY 2023 Vol.2

KYOTO SHOPPING DISTRICT PRESS

発行 | 京都府商店街振興組合連合会 〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78 (京都経済センター3階) TEL (075)-342-0301 FAX (075)-342-0302 URL <https://syouren.or.jp>

## CONTENTS

インタビュー：御園橋 801 商店街振興組合 | 京都の商店街をみつめる：宇治橋通商店街 | お店で出るロスを知り、ものを長く大切に！ | 学生コラボは WINWIN 作りが大切！ | TOPICS | INFORMATION | 記事からの気づき and more...



### 地域の代表として「自分らしい」色の商店街を

取材・写真・文 藤田 直己

理事長 田中 美保子さん

理事長補佐 池田 明弘さん

### 御園橋 801 商店街振興組合

いつも通りの“ほっこり”するような街づくりで、楽しく過ごせる一時を作りたい。

そう話すのは、御園橋801商店街の田中理事長、池田理事長補佐。今回は長年協力し合い、商店街を盛り上げているお二人にお話を伺いました。お二人は商店街の活動に向けて決めたことはいち早く進め、“地域のたくさんの方々に進んでお願いをしていく行動力が凄い”とお互いを認め合っています。その努力と信頼がここまで商店街を盛り上げている原動力です。この原動力はいったい何なのか。今までの運営方針とこれからの活動についてお聞きしました。

御園橋 801 商店街では、誰でもウェルカムで子供たちにご飯を提供する「こども食堂」や、地域の

信用金庫や警察署、消防署、交通局ともコラボした「みそのぼし801フェスティバル」など、地域の絆を大切にイベントを変わらず続けています。イベントの開催に当たっては、たくさんの方のボランティア活動やお手伝いがありました。

転機が訪れたのは新型コロナウイルスの感染拡大。この影響により、多くのイベントが開催できなくなりました。それでも休まず、平常通りに運営することを大事にし、コロナ対策をしながら昨年は例年通りに開催することができました。商店街運営は組合員の会費や国・京都府・京都市の補助金、地域住民からの寄付金等、多くの支えによって成り立っています。だからこそ地域の代表として長年商売できている感謝を還元していきたいの思いや、その支え合いこそが原動力であると解りました。

地域の人々以外にも他の商店街との交流も熱い。しかし、何も特別なことを望んだりすることはないと語ります。誰の真似でもなく自分らしく、“御園橋801商店街らしく”いることが大事。皆それぞれに頑張っているから、同じことはできない。その上で、いつも通りを続けていくには商店街の人手や後継者をもっと増やすことが必要であると伺いました。

時代が変わっていく中で、それぞれの商店街がそれぞれの色を大切に持ちつつ、時代に即した“いつも通り”を続けていくことが求められるのではないでしょうか。

御園橋 801 商店街振興組合 | 〒603-8833 京都市北区大宮東総門口町39 シャトルさわだ1F | ☎ 075-493-3733 | URL : <https://misonobashi-801.com>



## 「商店街 × 学生」 学生とのコラボで、商店街を盛り上げていく。

取材・文 藤田 直己

京都の商店街をみつめる

宇治橋通商店街振興組合

〒611-0021 京都府宇治市宇治巻番 65-5 | ☎ 0774-21-2285 | URL : <https://www.ujibashi.jp>



1 秋イベント「宇治橋通り 笑顔いっぱいわんさかフェスタ」にて、商店街応援サークルの学生による独自のブースも展開。 2 学生たちが揃いのほっぴを着て、日頃から精力的に活動。 3 宇治橋通商店街 4 学生と商店街店主との交流会も開催。写真は新入生歓迎会のもの。友達のような関係性でコラボ活動もさまざまな形で進化を続けている。 5 理事長 佐脇 至さん

長く京都文教大学の学生とのコラボを進めてきた宇治橋通商店街。学生有志の地域貢献活動として、様々な取り組みが行われてきました。今回は宇治橋通商店街の理事長である佐脇さんに、学生とのコラボについての経緯やメリット、他の商店街が学生とのコラボを実施する上でのアドバイスについて伺いました。

一宇治橋通商店街で学生とのコラボが進められてきた経緯について教えてください。

宇治橋通商店街では近くに所在する京都文教大学の学生との交流を15年前から続けてきました。大学のゼミ活動として商店街でフィールドワークをしたのが始まりで、当時は商店街にある隠れた名品を取り上げ、それを学生が出品することで名品の魅力を伝える「ええもん市」という取り組みをしていました。

こちらの活動は10年前に一区切りが付きましたが、その翌年に京都文教大学のある1人の学生が、商店街に関わっていききたいという熱い気持ちを伝えてくれました。それがきっかけで、学生有志の商店街応援サークルとして再びコラボが実現しました。ここでは、学生自らが商店街のお店紹

介や割合クーポン作成、InstagramなどのSNSで発信を行い、主に子供達に向けた活動を今も進めています。年1回開催される秋イベント「宇治橋通り 笑顔いっぱいわんさかフェスタ」では、学生だけの独自のブースを開いてくれました。最近では「宇治フォト」という市民参加型の写真展の開催を実施し、宇治市との連携も行いながら、コラボ活動が進化していています。

一学生とのコラボを行うことによるメリットや、今後の取り組みについて展望はありますか？

メリットは、商店街従事者の高齢化や人手不足問題がある中で、学生の若い力によって元気がもらえているということです。若手の活気や考えを取り入れることで、商店街が相乗効果でより良く進化していると実感できています。学生側も、普段経験できないような実体験の活動ができるため、就職活動や社会人になってからも役立つスキルを身に付けられていると感じています。

今後の展望については、外向きにこれ以上の活動を行うっていくことは考えておらず、より内向きの活動として、学生と商店街との絆を深めていくことを重視して活動を行っていききたいと考えます。

一他の商店街が学生とのコラボを実施する上でのアドバイスがあれば教えてください。

まず地域にコラボする学生がいることが前提となります。その上でコラボ活動を進めて行くには、同じチームとしての意識を持ち、お互いに懐に入っていくことが大事です。学生と役員とが交流して行う活動自体は様々な所で開催されていますが、形だけのものも多く、これでは続けていくことは難しいです。そのため、それぞれを応援しに行く、友達になりに行く気持ちで関係を作っていくことが重要です。

実際に宇治橋通商店街では、学生は独自のほっぴを着て精力的に活動を行って来ており、学生と店主間で交流会を開いたりもしています。他にも、学生が加盟店のアルバイトや、お手伝いとして関わっていくことも有効な活動であると考えます。

宇治橋通商店街と京都文教大学の学生との、とても深い関わりを感じました。商店街で長く行われてきた伝統的な活動と、学生の若い視点や感覚を取り入れた新しい活動とが互いに良い刺激となり、活動をさらに奥行きのあるものになっていることが解りました。

# お店で出るロスを知り、ものを長く大切に！

食品ロス、ごみの削減をめざす取組を紹介します

## 宇治橋通商店街編

こんにちは！ごみに対する意識改革について取り組んでいる大学生団体「ストレイト」です。こちらのコーナーでは、商店街におけるごみ削減の取り組みについて紹介していきます。今回は笑顔あふれる笑店街の、宇治橋通商店街です！3つのお店について紹介します。



若山時計店 | 何百年も動く時計

### 長年愛される時計・メガネを【若山時計店】

1つ目は、時計やメガネを販売している若山時計店です。ここでは修理で

出た部品や古くなった部品を保管し、他で使えるようにしています。昔は、くり返し修理して長く使うことが多かった時計も、現在は大量生産となり、壊れても修理するより新しく購入する方が安いので、捨てられることが多いそうです。物を大切に使うことは、ごみの削減にも重要ですね。



サイトー写真館 | 照明の電源を落としたスタジオ

### 節電もお任せあれ！【サイトー写真館】

2つ目は、記念写真や証明写真などの撮影を行っているサイトー写真館です。ここでは、広告の紙や会議書を切っ

てメモ用紙として使ったり、カメラは乾電池を多量に使用するため、充電式電池を使ったりしているそうです。また、スタジオを使わない時は照明の電源を落とすなど、省エネの取り組みもなされています。

### 紅茶とSDGsの推進に向けて【宇治紅茶館】

最後は、宇治紅茶館です。紅茶やクッキーの販売、喫茶店をされています。ここでは入れた後の茶葉を集めて、農家さんに肥料として使ってもらっているそうです。

また、元々はプラスチック製で販売していた紅茶商品のパッケージを紙製に変更したそうです。SDGsに向けた取り組みであるという表記も見られますね！

宇治橋通商店街では、お店でロスと



宇治紅茶館 | 使用済みの茶葉が肥料へ

利用したり別のものとして使ったりしているのですね！次回も様々な取り組みについて紹介していきます。ぜひ取材して欲しいという商店街さんは、奮ってご連絡ください。どうぞお楽しみに！

大学生団体 | ストレイト  
代表 | 藤田 直己  
E-mail: pianotaiko8021@gmail.com

# 学生コラボはWINWIN作りが大切！



ライター紹介：  
一般社団法人ツーリストシップ  
代表理事 田中千恵子  
京都大学経済学部卒  
観光課題解決のため学生時代に起業し、卒業後も活動を続ける。

本月のライターを務めます、田中です。学生時代に2年、社会人に2年非営利団体を経営し、多くの学生さんと一緒に活動をしてきましたので、今日はそこでの気づきをお伝えします。

まず学生と連携する上でよくある間違った認識について2つご紹介いたします。

1つ目、学生を無料の労働力と誤ってしてしまうこと。このような意識で学生と接していると、段々と学生の仕事の質は下がり、そして学生は顔を



も、高い仕事意識をもたない学生もいます。

では、学生たちは何を求めているのか。どう接したらいいのか。

まず1つは、貴重な経験です。大学生の時にしか味わ

えない経験、普通なら体験できない経験、商店の皆さんとの味わい深い関係性、そういう経験を提供することが学生のやる気に繋がります。

次に、「やりたいことを叶えられるか」です。大学生は最後の学生期間、自分のやりたいことを探し、夢を膨らまし、力試しの場所を探していま

す。それぞれの学生の興味関心から、それを実行する場所を商店街で提供することができれば、学生は満面の笑みと全力疾走で企画立案し実行に移すでしょう。あとは計画の練り直しや振り返りを対話を通して行うことで、一緒に質の向上を行います。

最後に、ぜひ、たくさん話を聞いてあげてください。若い子に話を聞いてもらえるのは嬉しいので、ついつい喋りたくなるのですが、学生さんの想いに耳を傾けることで、そこから、信頼は生まれ、商店街を支える相棒が生まれてきます。

学生たちには、広く発表、実験、実施の場を与え、楽しみながら動いて頂く。商店街は、その

学生たちの試みで、活性化をしていく。

お互いの思いや希望をどちらも実現できる形を作ることは、決して一筋縄ではいきません。しかし、商店街活性化には欠かせない要素であるのは確かです。ぜひ、本号をきっかけに、学生コラボを検討してみたいかがでしょうか。



イラスト/ちか

## TOPICS

# がんばろう！京都サンガ F.C.



by 京都商店連盟  
京 振 連

日時：令和5年2月26日(日) 10時～15時  
場所：京都市役所前広場/入場無料  
主催：京都府商店街振興組合連合会 | 共催：京都商店連盟 | 協力：京都サンガ F.C.

京都商店連盟および京都府商店街振興組合連合会では、京都サンガ F.C. を応援し地域商業の活性化を目指しております。さまざまなイベントをご用意しておりますのでふるってご参加下さい。

### 催し

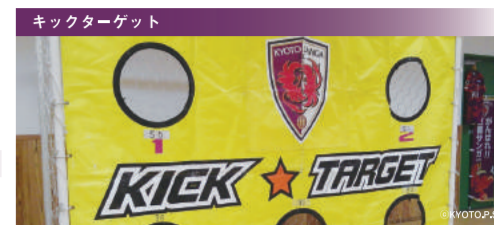
バーサクくん・コトノちゃんとの撮影会/キックターゲット(小学生以下:景品あり)/じゃんけん大会(景品あり)/キッズチアパフォーマンス/商店街紹介コーナー/ドローン体験コーナー/警察署コーナー/消防署コーナー/税務署コーナー(景品:京都サンガF.C.サインイン入りポスター、ノート、クリアファイル等)



バーサクくん・コトノちゃんとの撮影会



キッズチアパフォーマンス



キックターゲット



ドローン体験コーナー

## INFORMATION

### 01 商店街をテーマに、知り・考え・つなげる「京都商店街創生フォーラム2023」開催

京都経済センター3階 オープンイノベーションカフェ「KOIN」

京都府及び商店街創生センターでは、商店街同士がお互いの取組について知り、商店街のこれからについて考えるとともに、「商店街」をテーマにつなげる新たなネットワークづくりを促すことを目的に、「商店街創生フォーラム 2023」を開催します。

〈日程〉令和5年2月18日(土) 13:00～17:00  
〈場所〉京都経済センター3階 オープンイノベーションカフェ「KOIN」  
〈申込期限〉令和5年2月14日(火) 17:00 まで

#### 【申込フォーム】

右記のQRコードから申し込いただけます。

その他の申込み方法については、商店街創生センター HP: <https://syoutengai-c.com/> を御確認ください。

申込フォーム>>



掲載情報を募集しています

京都の商店街に関わるニュースやイベントなどの情報を随時募集します。「取り組みを知ってもらいたい」「イベントを知らせたい」など、ぜひお聞かせください！要項を記載してメールにてお送りください。(要項)メールアドレス「京都商店街新聞掲載情報」/主催者名/イベント紹介文(300字程度)

URLなど。その他、チラシのデータ添付など必要情報をご記載ください。(掲載枠には限りがありご希望に添えない場合がございます。ご了承ください。)掲載情報お問い合わせ先 ■ 京阪企画社 E-mail / [keihankikakusha.kyoto@gmail.com](mailto:keihankikakusha.kyoto@gmail.com)



京阪企画社 E-mail のQRコードはこちら

## 記事からの気づき

1面の御薮橋801商店街さんの記事からは、「それぞれの商店街それぞれの色を大切に」という田中理事長や池田理事長補佐の商店街活動に対する思いが伝わってきました。それぞれの地域には、地域を代表する商店街があります。2面の宇治橋通商店街さんも然り。それぞれの地域で商店街が核となり、さまざまなステークホルダーとまちを元気にされている。京都府内にある商店街が、それぞれの彩で地域に賑わいの華を咲かせている

様子が目に浮かんできました。2面の学生さんと商店街のコラボは大学が多い京都の強みの一つです。宇治橋通商店街の佐協理事長さんと学生さんが一緒に写っておられる写真が素敵ですね。一人の学生さんの熱い気持ちによりつながったコラボを10年以上も継続される間には、紆余曲折もあったでしょうが、3面の田中氏の記事にある「お互いの思いや希望をどちらも実現できる形」を実現されている事例として読ませていただきました。